

アーキヤマデ 株式会社

屋上・屋根空間から 環境貢献をめざす 防水資材のトップメーカー



軽量でコストの低い施工を実現した、これからのエネルギーを作りだす太陽光パネル固定工法『エヌブリット』



景観だけじゃない、自然の力で断熱効果。快適な緑の空間

昭和31年、床材工事業として創業したアーキヤマデ。使っていた床材を、屋上防水に使えないだろうか……と発想した日から、そのものがづくりの歴史と挑戦は始まった。昭和45年に開催された大阪万博博覧会の防水シート採用を機に、製品評価を高めるべく開発に注力。現在では、ビル・マンション・学校等、身近な建物の屋根に同社の防水シートが多く採用されている。

防水シート『リベットルーフ』は、業界初となるMMA樹脂を積層。高耐久性・高品質な防水シートを実現している。施工する際にも、シートとシートを重ね合わせた部分を溶融着によって一体化することで、接合部から水が入ってくることはない。施工の際は、既存下地の上から新しい防水層をかぶせる「かぶせ工法」を標準としている。専用金具とアンカーを用いて、防水シートを下地に固定するため、

太陽光と 自然環境を味方に キーワードは

これからエネルギーと言えば太陽光発電だ。このエネルギーを生むために導入を推進する太陽光パネル固定工法『エヌブリッド』は、屋根防水工事と太陽光パネル設置を同時にすすめる画期的なシステム。専用架台等、従来の大掛かりな取付け方法とは違った新開発の連結ディスクは、防水性が高く、堅固に下地への固定が可能である。軽量・工期短縮・コストダウンを実現する工法として好評だ。そして、屋上緑化システム『ブリオグリーン』は薄層・低管理型と庭園・管理型の2つの緑化手法で顧客のニーズに合ったものが選択できる。

こうして、柔軟な発想とチャレンジ精神で建物の屋根から街づくりすることを理念にかかげているアーキヤマデ。屋根から発展を遂げ、屋根から建築文化を守り、屋上から環境貢献をめざす企業として、これからの動向が注目される。

下地表面の影響を受けず、防水層のふくれは発生しない。また、専用金具と防水シートの固定にはIH(誘導加熱)の技術をいち早く採用する等、新しい技術への取り組みが非常に熱心である。

『リベットルーフCOOL』は赤外線波長領域に対する高い反射特性を持つた特殊顔料を配合した製品。太陽光線を反射することで、屋上スラブへの蓄熱、建物内部への熱流入を減少させ、大気の温度上昇を抑制することが可能だ。冷暖房効率を上げ、屋内の快適度はアップ。冷房排熱も下がり、ヒートアイランド現象を緩和することにも役買う。建物にも、ヒトにも、そして環境にもやさしい製品として注目のこの製品は、平成18年にはグッドデザイン賞を受賞した。

Company Profile

アーキヤマデ株式会社

住所 〒564-0053
吹田市江の木町24-10
TEL 06-6385-1268
FAX 06-6385-1304
設立 昭和31年3月5日
資本金 8,500万円
従業員 124名
代表取締役 山出 満

<http://www.a-yamade.co.jp>

■主な事業内容

合成樹脂建築資材の製造販売、合成樹脂原料・薬品の販売、金属製建築資材の販売

■主な取引先

防水工事代理店、建材商社等

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

開発のネタは常に現場にあります

代表取締役 山出 満さん



お客様の声、施工技能員の意見等、新製品を開発するには、「現場の声」を取り入れる。それを実行することがお客様に満足していただける製品を作り上げると信じて開発してきました。これからも満足していただくものづくりをめざします。